

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目 1 単位または 2 単位で、計 5 単位の科目群であり、「英語一列」(教養英語)・「英語二列 S」(アカデミック・ディスカッション)・「英語二列 W」(アカデミック・ライティング)に分けられます(その他に総合科目 L 系列 3 単位)。

「英語一列」(教養英語)は、共通教科書とそれに対応した音声教材とを使用する習熟度別の授業です。「英語二列 S」も同じく習熟度別の授業であり、FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施されます。「英語二列 W」は、文科生に対しては ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)の、理科生に対しては ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムによりそれぞれ実施されます。

- 「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修します。「英語一列」「英語二列 S」は習熟度別にクラスが分けられています。UTAS トップ画面>「履修」>「履修登録(前期課程)」>「履修登録(前期課程)」より、自身が履修する授業を確認してください(授業期間開始までに UTAS に反映されます。)
- 「英語二列 S」を履修するためには、英語スピーキングのレベル登録が必要です。過年度入学の 1 年生については、入学時に行ったレベル登録とは別に、新たに登録する必要があります。各ターム開始前にレベル登録に関する案内を前期課程ウェブサイト「お知らせ」に掲示します。自身が履修するタームの前に必ず掲示を確認し、所定の手続きを行ってください。手続きに不備があると履修できないことがあります。
- 「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」の 3 科目をそれぞれのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の 4 つのグループにあらかじめ分けられています。「(クラス指定総合科目 L)」と記載されている期間については、総合科目 L 系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講されます。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1 S1	1 S2	1 A1	1 A2
	1 S		1 A	
文一二 (8,11,22,25-26) 文三 (5,7,11,14,19) 理一 (1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39) 理二三 (11,13,20,23)	英語一列①	英語二列 S	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列②
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (5-6,13,15,16,18-19,24) 文三 (6,10,12,17) 理一 (7,9,13,19,25,28,30,34,37) 理二三 (6-7,18,19,22)	英語一列①	(クラス指定 総合科目 L)	英語二列 S	英語一列②
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	
文一二 (1-3,7,10,17,20-21,23,27-28) 文三 (1-3,9,15-16) 理一 (8,11,16,21,24,27,29,33) 理二三 (4,8,9,14,17,21)	英語二列 S	英語一列①	英語一列②	(クラス指定 総合科目 L)
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (4,9,12,14) 文三 (4,8,13,18,20) 理一 (5-6,10,14-15,22,26,32,38) 理二三 (1-3,5,10,12,15-16,24)	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列①	英語一列②	英語二列 S
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス	
≪英語一列②（教養英語）≫	
目標・概要	英語一列は、本学教養学部英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書を使用して行う授業である。言外の意味やニュアンス、書き手の真の意図への理解も含めた英文の深い読解力の涵養を目指すとともに、題材となっている科学、社会、文化、言語、歴史など文理横断的な多様なジャンルや問題への関心を喚起することで、多元化する世界に応じた幅広い「教養」を培うことを目標としている。クラスは学生の習熟度に合わせて３段階に分かれており、全クラスで共通して学習する教科書の指定されたセッションを試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。
授業の方法	・英語一列が行われる曜限にはそれぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割り当てについては教務課からの掲示を参照し、必ず指定されたクラスで受講すること（他の語学クラスとは違うので注意すること）。 ・英語一列では習熟度に応じて３つのグループを設定している。教務課からの教室割り当ての掲示にそれぞれのクラスがどのグループに該当するののかも示されている。 グループ１（G1）：授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。 グループ２（G2）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。 グループ３（G3）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指す。それをもとにした発展的な活動を含むこともある。 ・具体的な授業の方法（教材の選択と利用方法、必要な準備、課題や小テストなど）については UTOL の各クラスのページを参照し、初回授業時に担当教員から説明を受けること。
成績評価方法	・平常点５割、定期試験（統一試験）５割で評価が決定される。 ・定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり 50 点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。 ・期末試験日以前に休学し試験当日に在籍していない場合は成績はつかない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 多元化する世界を英語で読む 著者（訳者） 東京大学教養学部英語部会（編） 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-082135-3
関連ホームページ	≪英語特別クラス≫ 非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目Ⅰ系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語 担当教員	各教室	A1	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17）
				火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）
			A2	火 3	1 年文一二（13・24-25）文三（11・17）理一（1・4・9・18-19）理二三（7・13）
				火 4	1 年文一二（6・8・18）文三（5・7・12）理一（20・30-31・34-35）理二三（11・18・22）
				水 2	1 年文一二（5・15・19・26）文三（6・19）理一（7・12・23・28・36）理二三（6・23）
				水 3	1 年文一二（11・16・22）文三（10・14）理一（13・17・25・37・39）理二三（19-20）

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)				
授業の目標・概要		The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in an academic discussion, to be aware of their weaknesses in holding a discussion in English, and to have the tools to improve autonomously.		
成績評価方法		Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
50310	A 1	火 3	Breeden Benjamin Thomas	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50312	A 1	火 3	Simon Perry	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50313	A 1	火 3	Richard Dietz	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50314	A 1	火 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50315	A 1	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50316	A 1	火 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50317	A 1	火 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50318	A 1	火 3	Jesus Pulido Arcas	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50319	A 1	火 3	Kristopher McEown	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50320	A 1	火 3	Candler Hallman	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50321	A 1	火 3	Francesco Cangemi	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50322	A 1	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50323	A 1	火 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50324	A 1	火 3	Alex Bueno	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50325	A 1	火 3	松谷 優花	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50580	A 1	火 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50376	A 1	火 4	Jesus Pulido Arcas	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50377	A 1	火 4	Kristopher McEown	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50378	A 1	火 4	Leonard Sprague	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50379	A 1	火 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50380	A 1	火 4	Richard Dietz	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50381	A 1	火 4	Simon Perry	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50382	A 1	火 4	Stefanie Mack	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50383	A 1	火 4	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50384	A 1	火 4	Jelena Aleksejeva	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50385	A 1	火 4	松谷 優花	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50386	A 1	火 4	Alex Bueno	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50387	A 1	火 4	Candler Hallman	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50388	A 1	火 4	Dennis Stromback	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50389	A 1	火 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50390	A 1	火 4	Francesco Cangemi	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50391	A 1	火 4	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50392	A 1	火 4	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50494	A 1	水 2	Alexandra Terashima	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50495	A 1	水 2	Jelena Aleksejeva	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 S）

50496	A 1	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50497	A 1	水 2	Tito Akindele	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50498	A 1	水 2	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50499	A 1	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50500	A 1	水 2	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50501	A 1	水 2	Manuel Senna	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50502	A 1	水 2	John Solomon Maninang	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50503	A 1	水 2	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50504	A 1	水 2	Ian Wash	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50505	A 1	水 2	Graham Peebles	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50506	A 1	水 2	Eunsun Lee	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50507	A 1	水 2	Yassin Eiman	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50508	A 1	水 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50311	A 1	水 3	Stefanie Mack	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50581	A 1	水 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50582	A 1	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50583	A 1	水 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50584	A 1	水 3	Fei Chen	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50585	A 1	水 3	Graham Peebles	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50586	A 1	水 3	Ian Wash	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50587	A 1	水 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50588	A 1	水 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50589	A 1	水 3	Manuel Senna	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50590	A 1	水 3	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50591	A 1	水 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50592	A 1	水 3	Tito Akindele	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50593	A 1	水 3	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50594	A 1	水 3	Breeden Benjamin Thomas	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50595	A 1	水 3	Yassin Eiman	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60099	A 2	火 3	Simon Perry	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60100	A 2	火 3	Jesus Pulido Arcas	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60101	A 2	火 3	Kristopher McEown	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60102	A 2	火 3	Candler Hallman	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60103	A 2	火 3	Francesco Cangemi	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60104	A 2	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60105	A 2	火 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60106	A 2	火 3	Alex Bueno	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60107	A 2	火 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60109	A 2	火 3	Breeden Benjamin Thomas	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60110	A 2	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60111	A 2	火 3	Richard Dietz	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60112	A 2	火 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60113	A 2	火 3	松谷 優花	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

外国語（英語二列 S）

60114	A 2	火 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60163	A 2	火 3	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60115	A 2	火 4	WEITEMIER Adam	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60116	A 2	火 4	Jelena Aleksejeva	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60117	A 2	火 4	Stefanie Mack	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60118	A 2	火 4	Simon Perry	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60119	A 2	火 4	Richard Dietz	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60120	A 2	火 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60121	A 2	火 4	Leonard Sprague	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60122	A 2	火 4	Kristopher McEown	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60123	A 2	火 4	Jesus Pulido Arcas	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60124	A 2	火 4	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60125	A 2	火 4	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60126	A 2	火 4	Francesco Cangemi	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60127	A 2	火 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60128	A 2	火 4	Dennis Stromback	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60129	A 2	火 4	Candler Hallman	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60130	A 2	火 4	松谷 優花	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60131	A 2	火 4	Alex Bueno	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60140	A 2	水 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60141	A 2	水 2	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60142	A 2	水 2	Tito Akindele	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60143	A 2	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60144	A 2	水 2	Jelena Aleksejeva	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60145	A 2	水 2	Alexandra Terashima	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60146	A 2	水 2	Yassin Eiman	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60147	A 2	水 2	Eunsun Lee	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60148	A 2	水 2	Graham Peebles	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60149	A 2	水 2	Ian Wash	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60150	A 2	水 2	John Solomon Maninang	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60151	A 2	水 2	Manuel Senna	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60152	A 2	水 2	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60153	A 2	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60154	A 2	水 2	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60108	A 2	水 3	Stefanie Mack	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60162	A 2	水 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60164	A 2	水 3	Breeden Benjamin Thomas	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60165	A 2	水 3	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60166	A 2	水 3	Tito Akindele	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60167	A 2	水 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60168	A 2	水 3	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60169	A 2	水 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60170	A 2	水 3	Yassin Eiman	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 S）

60171	A 2	水 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60172	A 2	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60173	A 2	水 3	Manuel Senna	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60174	A 2	水 3	Fei Chen	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60175	A 2	水 3	Graham Peebles	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60176	A 2	水 3	Ian Wash	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60177	A 2	水 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)			開講区分	A
授業の目標・概要		This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence, and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will: - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.		
授業の方法		Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on an issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.		
成績評価方法 関連ホームページ		Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities. https://eng2.c.u-tokyo.ac.jp/support		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス	
50705	木 2	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50706	木 2	Richard Dietz	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50707	木 2	Simon Perry	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50708	木 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50709	木 2	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50710	木 2	松谷 優花	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50711	木 2	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50712	木 2	Ian Wash	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50713	木 2	Fei Chen	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50714	木 2	Eunsun Lee	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50715	木 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50716	木 2	Dennis Stromback	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50717	木 2	Alex Bueno	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50718	木 2	Alexandra Terashima	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50719	木 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)	
50756	木 3	Alex Bueno	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50757	木 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50758	木 3	松谷 優花	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50759	木 3	Yassin Eiman	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50760	木 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50761	木 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50762	木 3	Fei Chen	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50763	木 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50764	木 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50765	木 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50766	木 3	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50767	木 3	Richard Dietz	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50768	木 3	Simon Perry	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50769	木 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	
50770	木 3	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)	

50816	木 4	Yassin Eiman	1 年 文一二(22)文三(7)
50817	木 4	Rajalakshmi Nadadur	1 年 文一二(22)文三(7)
50818	木 4	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(22)文三(7)
50819	木 4	Leonard Sprague	1 年 文一二(22)文三(7)
50876	金 1	松谷 優花	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50877	金 1	Yassin Eiman	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50878	金 1	Wei-Hao Huang	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50879	金 1	Sylvia Ejmont	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50880	金 1	Alex Bueno	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50881	金 1	Ian Wash	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50882	金 1	Eunsun Lee	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50883	金 1	Dennis Stromback	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50884	金 1	Catherine Hansen	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50885	金 1	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50979	金 3	Simon Perry	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50980	金 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50981	金 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50982	金 3	Alex Bueno	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50983	金 3	Sylvia Ejmont	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50984	金 3	松谷 優花	1 年 文一二(28)文三(11,16)
50985	金 3	Yassin Eiman	1 年 文一二(28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)			開講区分	A
授業の目標・概要		In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.		
授業の方法		Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation.		
成績評価方法		Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities.		
関連ホームページ		https://eng2.c.u-tokyo.ac.jp/support		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス	
50030	月 2	WEITEMIER Adam	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)	
50031	月 2	Breeden Benjamin Thomas	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)	
50032	月 2	John Solomon Maninang	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)	
50033	月 2	Kristopher McEown	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)	
50034	月 2	Jesus Pulido Arcas	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)	
50035	月 2	Jelena Aleksejeva	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)	
50036	月 2	Francesco Cangemi	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)	
50037	月 2	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)	
50038	月 2	Manuel Senna	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)	
50068	月 3	Graham Peebles	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50069	月 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50070	月 3	Jesus Pulido Arcas	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50071	月 3	John Solomon Maninang	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50072	月 3	Kristopher McEown	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50073	月 3	Leonard Sprague	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50074	月 3	Manuel Senna	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50075	月 3	Rajalakshmi Nadadur	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50076	月 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50077	月 3	Stefanie Mack	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50078	月 3	Tito Akindele	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50079	月 3	WEITEMIER Adam	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50080	月 3	Jelena Aleksejeva	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50081	月 3	Francesco Cangemi	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50082	月 3	Eric Vanden Bussche	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50083	月 3	Alexandra Terashima	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50084	月 3	Candler Hallman	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)	
50131	月 4	Graham Peebles	1 年 理一(11-12)	
50132	月 4	Eric Vanden Bussche	1 年 理一(11-12)	
50133	月 4	Candler Hallman	1 年 理一(11-12)	
50134	月 4	Alexandra Terashima	1 年 理一(11-12)	

50135	月 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(11-12)
50198	火 1	ディーエル グレゴリー	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50199	火 1	Breeden Benjamin Thomas	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50200	火 1	Tito Akindele	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50201	火 1	Leonard Sprague	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50202	火 1	Jesus Pulido Arcas	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50203	火 1	Francesco Cangemi	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50204	火 1	Alexandra Terashima	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50205	火 1	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50462	水 1	Stefanie Mack	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50463	水 1	Tito Akindele	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50464	水 1	WEITEMIER Adam	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50465	水 1	Jelena Aleksejeva	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50466	水 1	Manuel Senna	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50467	水 1	Ian Wash	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50468	水 1	Graham Peebles	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50469	水 1	ディーエル グレゴリー	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50902	金 1	Graham Peebles	1 年 理二三(8,14)
50903	金 1	John Solomon Maninang	1 年 理二三(8,14)
50904	金 1	Kristopher McEown	1 年 理二三(8,14)
50905	金 1	Richard Dietz	1 年 理二三(8,14)
50906	金 1	Simon Perry	1 年 理二三(8,14)
50907	金 1	Stefanie Mack	1 年 理二三(8,14)
50996	金 3	Breeden Benjamin Thomas	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
50997	金 3	Jelena Aleksejeva	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
50998	金 3	Richard Dietz	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
50999	金 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51000	金 3	Kristopher McEown	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51001	金 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51002	金 3	Ian Wash	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51003	金 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51004	金 3	Candler Hallman	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51005	金 3	Francesco Cangemi	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51034	金 4	Candler Hallman	1 年 理二三(4,11,17)
51035	金 4	Jesus Pulido Arcas	1 年 理二三(4,11,17)
51036	金 4	WEITEMIER Adam	1 年 理二三(4,11,17)
51037	金 4	Breeden Benjamin Thomas	1 年 理二三(4,11,17)
51038	金 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理二三(4,11,17)
51039	金 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理二三(4,11,17)

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語		開講区分	A	
授業の目標・概要				
Sセメスターに引き続いて、共通教材『Einblicke』(東京大学教養学部ドイツ語部会編)を用いて、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。なお、総合科目 L 系列の科目も積極的に履修することを勧める。				
成績評価方法				
平常点および試験結果から総合的に判断する。				
教科書				
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』				
著者(訳者) 東京大学教養学部ドイツ語部会編				
出版社				
ISBN				
その他				
関連ホームページ				
http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50044	月 2	ドイツ語一列②	斉藤 渉	1 年 理一(29)
50045	月 2	ドイツ語一列②	越懸澤 麻衣	1 年 理一(32)
50340	月 4	ドイツ語一列②	益 敏郎	1 年 文三(15)
50327	火 3	ドイツ語一列②	石原 あえか	1 年 文一二(20)
50328	火 3	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	1 年 文一二(22)
50346	火 3	ドイツ語一列②	梶谷 真司	1 年 理一(31)
50436	火 5	ドイツ語一列②	川崎 聡史	1 年 理一(28)
50538	水 2	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1 年 理一(18)
50633	水 4	ドイツ語一列②	速水 淑子	1 年 理一(30)
50779	木 3	ドイツ語一列②	森 芳樹	1 年 文一二(21)
50799	木 3	ドイツ語一列②	岡野 伸哉	1 年 理二三(17)
50807	木 4	ドイツ語一列②	フランク ゴーデ	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
51010	金 3	ドイツ語一列②	岡野 伸哉	1 年 理二三(19)
51025	金 4	ドイツ語一列②	針貝 真理子	1 年 文三(16)
51042	金 4	ドイツ語一列②	工藤 達也	1 年 理二三(18)
50610	水 3	ドイツ語特修	越懸澤 麻衣	2 年 文科 理科

基礎科目 フランス語

フランス語			開講区分	A
授業の目標・概要		文科学クラス、理科学クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文科学は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理科学には、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。		
成績評価方法 教科書		平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他		
関連ホームページ		http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50027	月 2	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 文一二(24)
50046	月 2	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 理一(37)
50094	月 3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 理一(38)
50095	月 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 理一(39)
50123	月 4	フランス語一列②	治山 純子	1 年 文一二(23)
50147	月 4	フランス語一列②	森元 庸介	1 年 理二三(12)
50405	火 4	フランス語一列②	西川 純子	1 年 文一二(26)
50477	水 1	フランス語一列②	石川 典子	1 年 理一(33)
50545	水 2	フランス語一列②	赤羽 悠	1 年 理二三(20)
50604	水 3	フランス語一列②	桑田 光平	1 年 理一(36)
50624	水 4	フランス語一列②	今橋 映子	1 年 文三(17)
50723	木 2	フランス語一列②	郷原 佳以	1 年 文三(18)
50724	木 2	フランス語一列②	實谷 総一郎	1 年 文三(19)
50725	木 2	フランス語一列②	藤岡 俊博	1 年 文三(20)
50739	木 2	フランス語一列②	坂本 さやか	1 年 理一(35)
50742	木 2	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 理二三(22)
50780	木 3	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 文一二(27)
50808	木 4	フランス語一列②	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50835	木 4	フランス語一列②	野崎 夏生	1 年 理二三(23)
50889	金 1	フランス語一列②	上杉 未央	1 年 文一二(28)
50900	金 1	フランス語一列②	小西 英則	1 年 理一(34)
51011	金 3	フランス語一列②	小西 英則	1 年 理二三(21)
51012	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	1 年 理二三(24)
51023	金 4	フランス語一列②	中尾 沙季子	1 年 文一二(25)
50611	水 3	フランス語特修	今橋 映子	2 年 文科 理科

基礎科目 中国語

中国語			開講区分	A
授業の目標・概要	中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。 ●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。 但し「高度」科目選択の学生は必ず「初級演習（高度）」を履修すること（担当：鄧芳先生 月5 白春花先生 金2）。 ●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい（担当：賈黎黎先生 金2）。 但し「高度」科目選択の学生は必ず「初級演習（高度）」を履修すること（担当：鄧芳先生 月5 白春花先生 金2）。 ●既習クラスは、概要やテキストが異なるため該当クラスのシラバスを確認すること。			
成績評価方法	期末試験、小テストなどで評価をするが、具体的には学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語教程（2026年3月出版） 著者（訳者） 小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之・李佳樑 著 出版社 白帝社 ISBN その他			
関連ホームページ	中国語部会連絡掲示板 https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/chinese			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50024	月 2	中国語一列②	大橋 義武	1 年 文一二(12)
50025	月 2	中国語一列②	菊池 真純	1 年 文一二(13)
50091	月 3	中国語一列②	三村 一貴	1 年 理一(20)
50092	月 3	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 理一(22)
50127	月 4	中国語一列②	中村 元哉	1 年 文三(11)
50128	月 4	中国語一列②	伊藤 徳也	1 年 文三(12)
50129	月 4	中国語一列②	田原 史起	1 年 文三(13)
50206	火 1	中国語一列②	張 政遠	1 年 理一(21)
50475	水 1	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 理一(24)
50476	水 1	中国語一列②	王 牧	1 年 理一(26)
50524	水 2	中国語一列②	王 欽	1 年 文一二(17)
50539	水 2	中国語一列②	阿古 智子	1 年 理一(19)
50544	水 2	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 理二三(16)
50620	水 4	中国語一列②	岩月 純一	1 年 文一二(14)
50622	水 4	中国語一列②	韓 燕麗	1 年 文一二(18)
50737	木 2	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 理一(25)
50778	木 3	中国語一列②	河野 直恵	1 年 文一二(19)
50798	木 3	中国語一列②	松本 秀士	1 年 理二三(15)
50809	木 4	中国語一列②	王 牧	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50813	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	1 年 文一二(15)
50814	木 4	中国語一列②	毛 興華	1 年 文一二(16)
50834	木 4	中国語一列②	河野 直恵	1 年 理二三(13)
50899	金 1	中国語一列②	菊池 真純	1 年 理一(27)
50988	金 3	中国語一列②	三村 一貴	1 年 文三(14)
50993	金 3	中国語一列②	岩月 純一	1 年 理一(23)
51009	金 3	中国語一列②	及川 茜	1 年 理二三(14)
50612	水 3	中国語特修	石井 剛	2 年 文科 理科

基礎科目 ロシア語

ロシア語		開講区分	A	
授業の目標・概要	初修ロシア語の1年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1年を終えるころには簡単なロシア語テキストが自在に読める能力の獲得をめざす。 文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。 Sセメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テキストによって読解の基礎をつける。			
成績評価方法	定期試験と平常点に基づいて評価する。 (1) 平常点とは、出席、授業中に実施される小テスト、その他の課題等に基づいて算出される点数を指す。 (2) 定期試験（本試験）を欠席した場合、平常点に関係なく「欠席」となり、実質的に0点（「不可」）となる（平常点は考慮されない）。 (3) やむをえない理由があつて定期試験（本試験）を欠席した場合は、所定の手続きを経て追試験を受けることができる。 (4) 追試験を欠席した場合の成績は、本試験欠席時と同様に、「欠席」となる。追試験を受けた場合の平常点の扱いは、本試験を受験した場合に準ずる。			
教科書	※定期試験（本試験・追試験）と成績評価に関しては「履修の手引き」34～44頁を熟読すること。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Изучаем русский язык с нуля（ロシア語をはじめよう） 著者（訳者） 西中村浩・朝妻恵理子 出版社 朝日出版社 ISBN その他			
関連ホームページ				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50411	火 4	ロシア語一列②	丸山 由紀子	1年 理二三(4)
50727	木 2	ロシア語一列②	浜田 華練	1年 理一(4)
50728	木 2	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1年 理一(5)
50967	金 3	ロシア語一列②	乗松 亨平	1年 文一二(4)
50986	金 3	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1年 文三(4)
50640	水 4	ロシア語特修	居阪 僚子	2年 文科 理科

基礎科目 スペイン語

スペイン語			開講区分	A
授業の目標・概要				
初修スペイン語では、共通教科書『Brújula』を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を1列（文法）と2列（講読）に分ける。Aセメスターでは1列で文法・講読の両方を扱う。文系では、ネイティブ教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週2回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。				
成績評価方法				
各担当教員に任されている。				
教科書				
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
書名 『Brújula-スペイン語学習の羅針盤』				
著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会				
出版社 朝日出版社				
ISBN 978-4-255-55111-1				
その他				
関連ホームページ				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50023	月 2	スペイン語一列②	豊田 唯	1年 文一二(9)
50048	月 2	スペイン語一列②	受田 宏之	1年 理二三(10)
50099	月 3	スペイン語一列②	豊田 唯	1年 理二三(7)
50100	月 3	スペイン語一列②	澤村 るり子	1年 理二三(8)
50196	火 1	スペイン語一列②	杉守 慶太	1年 理一(11)
50197	火 1	スペイン語一列②	丸山 共恵	1年 理一(16)
50338	火 3	スペイン語一列②	杉守 慶太	1年 文三(10)
50413	火 4	スペイン語一列②	藤井 礼奈	1年 理二三(9)
50598	水 3	スペイン語一列②	伊香 祝子	1年 文三(9)
50629	水 4	スペイン語一列②	豊田 唯	1年 理一(9)
50631	水 4	スペイン語一列②	伊香 祝子	1年 理一(17)
50720	木 2	スペイン語一列②	若林 大我	1年 文一二(10)
50731	木 2	スペイン語一列②	川上 英	1年 理一(10)
50734	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 理一(15)
50771	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 文一二(11)
50781	木 3	スペイン語一列②	宮地 隆廣	1年 文三(7)
50787	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(12)
50788	木 3	スペイン語一列②	木崎 孝嘉	1年 理一(13)
50797	木 3	スペイン語一列②	川上 英	1年 理二三(11)
50811	木 4	スペイン語一列②	木崎 孝嘉	1年 文一二(8)
50823	木 4	スペイン語一列②	佐々木 充文	1年 理一(14)
50975	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	1年 文一二(7)
50987	金 3	スペイン語一列②	内田 兆史	1年 文三(8)
50613	水 3	スペイン語特修	石橋 純	2年 文科 理科

基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語			開講区分	A
授業の目標・概要 ●1年生初修クラス Sセメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋（精選版）』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによってAセメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。 文学生はこのほか総合科目L系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっています。 ●特修クラス これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくはUTAS上のシラバスを参照してください。 定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名『ことばの架け橋（精選版）』 著者（訳者）生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル 出版社白帝社 ISBN978-4-86398-406-6 その他 成績評価方法 教科書 関連ホームページ http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50125	月 4	韓国朝鮮語一列②	河崎 啓剛	1年 文三(5)
50307	火 3	韓国朝鮮語一列②	月脚 達彦	1年 文一二(5)
50412	火 4	韓国朝鮮語一列②	吉良 佳奈江	1年 理二三(5)
50894	金 1	韓国朝鮮語一列②	齊藤 良子	1年 理一(6)
50641	水 4	韓国朝鮮語特修	三ツ井 崇	2年 文科 理科

基礎科目 イタリア語

イタリア語		開講区分	A	
授業の目標・概要		●1年生初修クラス I列II列では、Aセメスター前半までに、初級文法を一通り習得します。Aセメスター後半ではそれを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テキストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版局）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目（文系）・国際コミュニケーション科目（理系）として開講されています。「国際コミュニケーション」として、ほかにも初級の会話・作文、テキスト分析Ⅰも開講されているので、積極的に受講してください。 ●既修クラス 総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。 ●授業計画 1年生初修 ―Aセメスター前半 初級文法まとめ Aセメスター後半 講読中心 ●学習上のアドバイス 時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目L系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。		
成績評価方法		平常点とセメスター末の筆記試験		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』 著者（訳者） 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社 ISBN その他		
関連ホームページ				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50041	月 2	イタリア語一列②	岡本 太郎	1年 理一(8)
50146	月 4	イタリア語一列②	岡本 太郎	1年 理二三(6)
50337	火 3	イタリア語一列②	村松 真理子	1年 文三(6)
50341	火 3	イタリア語一列②	藤崎 衛	1年 理一(7)
50704	木 2	イタリア語一列②	倉重 克明	1年 文一二(6)
50642	水 4	イタリア語特修	村松 真理子	2年 文科 理科

基礎科目 日本語

日本語			開講区分	A	
授業の目標・概要		[注意事項] ● 前期課程外国語科目の既修外国語、あるいは、[既修・既修選択]の初修外国語相当として「日本語」を選択した学生は、基礎科目「日本語一列②」が必修となります。初回授業から必ず出席してください。 ● 総合科目Ⅰ系列科目は、自由選択科目です。履修登録は、UTAS や授業での指示に沿って進めてください。 ----- ● 基礎科目『日本語一列②』 「調査・分析・議論のための日本語演習」 文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ・資料収集・調査分析・結果発表を協働で行い、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象や課題について他者と建設的な意見交換を行う力を育むことを目指します。テーマは人文・社会・科学等様々な分野から、受講生の関心も踏まえて決定します。協働的タスクの遂行、及び授業中のディスカッション・プレゼンテーション・ピアフィードバック等への能動的な参加が求められます。 ● 総合科目Ⅰ系列『日本語上級』 総合科目Ⅰ系列においては、「大学で、日本語を使って学んでいく」ために必要となる各種技能をバランス良く伸ばしていけるよう、多様な内容の科目を提供しています。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバスを参照してください。			
成績評価方法		成績評価方法は、科目により異なるので、UTAS 上のそれぞれの科目のページを参照してください。 全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価します。			
教科書		その他。／Other			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割 コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50231	A	火 2	日本語一列②	本林 響子	1 年 文科 理科
50915	A	金 2	日本語一列②	本林 響子	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分		A
授業の目標・概要		週1回の授業を通じて 1. 身体および身体運動に関する知識を習得する。 2. 自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3. スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4. 生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画		第1回 講義、種目選択（対面） 第2回から第13回 選択した種目での授業 （注意事項） ・第1回から対面で行う。使用教室は UTOL や9号館前の掲示板に掲示する。 ・学期中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を行う。詳細は第1回授業、第2回授業で確認すること。 ・雨天が続いた場合など、例外的に外種目を体育館で行い、本来の体育館種目が別の場所（教室など）に移動することもあるので、9号館前の掲示板や UTOLのお知らせを毎回よく確認すること。 ・体力テストを12月下旬の授業にて実施する。実施方法は UTOL を使って連絡する。 ・以上の授業計画が変更となる場合は UTOL を使って連絡する。		
授業の方法		第2回の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー、バドミントン等）、フィットネスコース、サイエンスコース（一部の曜限のみ）から選択する。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室 Web サイト（URL は後述）にも掲示する。 種目選択以降は、各種目に分かれて実習を行う。基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。 学期中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を通常とは別の場所で行う。講義や共通基礎実習だけでなく、実技授業でも教科書『身体運動・健康科学ベーシック』を用いることがあるので、毎回持ってくることに。		
成績評価方法		出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 体力テスト：例年4月と12月に行い、評価に含める。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 身体運動・健康科学ベーシック 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会 ISBN 978-4-13-052707-1		
履修上の注意		種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。		
学習上のアドバイス		盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。 種目担当教員のメールアドレスは UTOL のお知らせに掲載予定である。		
関連ホームページ		https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50028	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(26)文三(11,16)理一(10-11,19,23,25-26)理二三(4,8)
50306	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(4,14)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50361	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14)理一(27)理二三(1-3,7,12,17,19)
50556	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(7-8,15)文三(8)理一(1-3,6-7,9,15,18,30,32)
50621	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(16,27-28)文三(4,9)理一(13,16,24)理二三(16,20-21)
50721	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(13)理一(12,31,33)理二三(5-6,9-11,15,24)
50755	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(6,9,18,23)文三(5-6,12,17)理二三(13-14,23)
50977	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(17,20,24)文三(7,10,15)理一(4-5,8,21,36)理二三(18)
51016	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(10,19,21-22)文三(13,19-20)理一(22,29,39)理二三(22)

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ ィカルケア）

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア）			開講区分	A
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1. 身体および身体運動に関する知識を習得する。 2. 自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3. スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4. 生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	第1回 講義、種目選択（対面） 第2回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業） （注意事項） ・第1回の授業は原則としてクラス指定された身体運動・健康科学実習Ⅱの曜限で受講すること。使用する URL や教室は UTOL や9号館前の掲示板に掲示する。 ・第1回の授業後半に種目選択を行う。その際にメディカルケアコースの履修希望であることを申し出ること。履修する曜限（月1、月5、火1、水1のいずれか）もできるだけその日に決定することが望ましい。 ・第2回以降は月1、月5、火1、水1のいずれかで授業を受けることになる。いずれの曜限においても、各自の状態に応じて実習を行うことになるので、担当教員とよく話し合いながら実習に取り組むことが望ましい。 ・以上の授業計画に変更が生じる場合はメールまたは UTOL を使って連絡する。			
授業の方法	各自の状況に応じて、処方された運動やリハビリテーションを行う。			
成績評価方法	身体運動・健康科学について学び、議論する。 出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 身体運動・健康科学ベーシック 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会 ISBN 978-4-13-052707-1			
履修上の注意	健康診断等で保健センターから指示された者や本人の申し出があって担当教員が認めた者だけが受講できる。またセメスターの途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元々選択していた種目に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。			
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。			
関連ホームページ	後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。 https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50001	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア1）	実技担当	1 年 文科 理科
50484	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア2）	実技担当	1 年 文科 理科
50161	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア3）	実技担当	1 年 文科 理科
50208	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア3）	実技担当	1 年 文科 理科

基礎科目 社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50107	A	法Ⅱ	小粥 太郎	法・政治	月 3	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要		法学入門 法学部で行われる実定法（憲法、民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法等）の授業ではどのようなことを学ぶのかについて、おおまかな話をします。教養学部で法と法学を学ぶ意義について、法学部の外（教養学部）から観察し、考察します。				
成績評価方法		主に期末筆記試験によります（8割の予定）。 基本的に毎回、授業コメントを提出をしていただき、その内容も副次的に成績評価の資料とします（2割の予定）。コメントには、当日の授業の要点と感想を記してください。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50459	A	法Ⅱ	白石 忠志	法・政治	水 1	1 年 文一(1-11) 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		法Ⅱ（白石忠志） 【文一のみ履修可】 条文・行政文書・判決などの資料を読み解くために必要な約束事を知り、それらの資料を読んで理解した経験を積むことを目標とします。 教科書として、白石忠志『法律の読み方がわかる本』（ちくま新書）を使います。この本の枠組みに沿って、しかし素材の一部は別のものと入れ替えながら、授業を進めます。仮に素材の大部分を入れ替えたとしても、枠組みや知識や考え方は書いてあるわけですから、教科書として指定する意味はあると考えています。 また、今年は、紙の六法を教室で全員が広げることを前提とします。9 月下旬頃に発売となる『ポケット六法 令和 9 年版』（有斐閣）を、全員が用意してください。 第 1 回（01）は、9 月末頃までに UTOL 経由でお知らせする Google ドキュメントを見ていただくこととします。 セメスター末の定期試験によって評価します。				
成績評価方法 教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 白石忠志 『法律の読み方がわかる本』（ちくま新書） 筑摩書房 978-4-480-07750-9				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50460	A	法Ⅱ	増井 良啓	法・政治	水 1	1 年 文一(12-20) 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		実定法学入門 【文一のみ履修可】 この授業では、法学部の専門科目への橋渡しとして、法的テキスト（判決文など）を素材としつつ、現代日本法（の一端）を読み解きます。				
成績評価方法 教科書		定期試験と平常点。平常点は UTOL 上の課題提出などによる。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 森田果 法学を学ぶのはなぜ？ 有斐閣 978-4-641-12620-6 補助教材は UTOL で配布				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50461	A	法Ⅱ	渚 麻依子	法・政治	水 1	1 年 文一(21-28) 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		知的財産法から見る法学入門 【文一のみ履修可】 この授業では、法Ⅰの履修により法学について基礎的な知識を習得したみなさんと一緒に、知的財産法と呼ばれる分野に関連する判例や論文、立法資料などのテキストを読み解くことを通じ、法学という学問分野にアプローチすることを目指します。 期末試験と平常点により評価します。				
成績評価方法		教科書 ガイダンス				
		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50108	A	政治Ⅱ	古賀 光生	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		『民主主義の比較政治学』の一步前 この講義の目的は、政治学の基礎的な概念を身につけることです。講義では幅広い領域に言及しつつも、それぞれの領域ごとに重要な論点を掘り下げる形式で講義を進めます。 政治学には、様々な関心対象とそれへの接近方法があります。この講義では、いわゆる「確立された民主主義国」を対象として、議会や政党など、民主政治を運用する上で不可欠であると想定されている機構について、これまで政治学者たちが論じてきた内容を紹介します。手法としては、「比較政治」という方法に基づいて、具体的な事象を観察・分析した得られた知見を扱います。基本的には学問的な議論を中心に据えますが、受講生の関心に沿って、時事的な話題と学問的な議論の接点を探ることも試みます。 この講義は、2 年次以降に展開されるより専門的な諸・政治学系科目への導入のような役割にあります。受講生には、講義で扱われる論点や手法など、特に関心を持った対象について自身でも深く探求することを求めます。その際には、他の講義で得た知見も活用することを期待します。				
成績評価方法		学期末試験(100%)によって成績を評価します。				
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 伊藤武・作内由子・中井遼・藤村直史著 民主主義の比較政治学 有斐閣 978-4641200142				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50485	A	政治Ⅱ	寺下 和宏	法・政治	水 1	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要		社会理解と変化のための政治学 本講義では、政治学の基本的な理論・概念について概説する。「政治」という言葉にはネガティブなイメージや偏った見方がつきまとう。例えば「国会議員や官僚は数が多く、高給取りだ」「政治家は不正ばかりをしている」「企業と政府は裏で繋がっている」などの言説が根拠もないまま語られる。 以上のような根拠やデータに基づかない言説は、政治に対する誤った見方をもたらしだけでなく、政治に対する過度な忌避意識を生じさせることもある。政治に対する過度な忌避意識が生じると、本来、政治で議論されるべき問題が政治で取り上げられにくくなり、社会問題の解決の遅れをもたらし可能性もある。 政治学の理論や知識を身につければ、以上で示したネガティブで、偏った「政治」のイメージが一面的であることが理解できるようになる。それだけでなく、冷静に、確かな根拠に基づいて、社会問題を解決するために必要な視点を養うことにもつながる。 そこで本講義では、政治学の基本的な概念・理論について、最新の知見やデータを踏まえながら概説する。具体的には日本および諸外国を題材として、政治に関わるアクターとその役割、関連する理論・概念を概説する。また個別の社会問題と政治との関わりにも触れる。特にジェンダーや階級、階層、交差性といった観点から、少数派がいかにして利益を反映できるかという視点を持ちながら、個別の事例および研究の紹介を行う。				
成績評価方法		期末試験を実施し、その点数によって評価する。				
教科書		また授業毎に提出を求めるコメント、質問を最終評価に加味することがある。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 伊藤武，作内由子，中井遼，藤村直史 民主主義の比較政治学 有斐閣 9784641200142				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50109	A	経済Ⅱ	竹野 太三	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		経済学Ⅱ				
授業の目標概要		価格理論 価格理論を学びます。価格理論は経済学の基礎となる大変重要な理論体系であることから、本講義では一学期をかけて、価格理論をゼロから網羅的に、考え方を含めて学びます。なお、本講義は「基礎科目」ですので、本講義で初めて経済学を学ばれる方を想定します。				
成績評価方法		期末試験（持ち込み不可）によります。なお期末試験は対面で行われる予定です。				
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 竹野太三 経済学の基礎 価格理論 東京大学出版会 978-4-13-042146-1				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50440	A	経済Ⅱ	高見 典和	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		科学コミュニティの社会性に注目する現代の科学論を参照しながら、経済学の歴史を議論します。				
授業の目標概要		欧米の一部の研究者は、より洗練された視点で経済学の歴史を研究しています。本講義では、担当講師の訳書や著書を用いて、近年の経済学史研究の一端を紹介したいと思います。				
成績評価方法		平常点および試験				
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 野原，沖，高見 経済学史 日本評論社				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50110	A	社会Ⅱ	井上 彰	社会・社会思想史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		政治哲学入門				
授業の目標概要		本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、19世紀に生まれ、20世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、20世紀を代表する分析的政治哲学者であるJ・ロールズの議論をおさえたうえで、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。				
成績評価方法		定期試験の点数に、複数回課す小レポートの点数を加えて評価する。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50486	A	数学I	松井 宏樹	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		数学I				
授業の目標概要		一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う文科生向け科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって扱う順序が異なる場合がある。				
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。				
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 三宅敏恒 入門微分積分 培風館 978-4-563-00221-3				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50487	A	数学II	池 祐一	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		数学II ベクトルと行列に関する基礎的な内容や計算手法を理解するための文科生向け科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって扱う順序が異なる場合がある。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50488	A	数学II	葉廣 和夫	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		数学II ベクトルと行列に関する基礎的な内容や計算手法を理解するための文科生向け科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって扱う順序が異なる場合がある。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance				

基礎科目 人文科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50111	A	哲学Ⅱ	國分 功一郎	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	中動態と責任 責任とは何かを哲学的に考察する。 期末レポート。 授業の内容をどれだけ理解できているか、自分なりの優れた問いを提示できているか、その問いを説得力ある仕方で論じられているかどうかを見て評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50441	A	哲学Ⅱ	松村 康平	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	哲学の探求方法を考える 哲学とは普遍的なテーマについて考えるものである一方で、その語られ方や書かれ方は各時代の文化的社会的な特徴を反映したものでもある。本授業の目的は、西洋哲学を哲学史的な観点から俯瞰しつつ、各時代の「語り方/書き方」や特徴的なトピックに着目することで、それぞれの時代における哲学のアクチュアリティとその焦点がどのような事柄に向けられていたのかを理解することを通して、哲学的な問いや応答の仕方を学ぶことにある。そのために、本授業では古代から近代までの各時代の文化的社会的背景を踏まえつつ、それらに呼応する特徴的なテキストを取り上げて読むことで、哲学における基礎知識や考え方を身に着けることを目指す。 初回授業時に告知します。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50112	A	倫理Ⅱ	田崎 英明	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	日常性と倫理 日常性に孕まれる謎や神秘に着目することで、普段何気なく見過ごされているものの持つ倫理性に気づき、そこからよりよい生と社会のあり方について論じられるようになる。 試験 70%、授業への参加状況 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50442	A	歴史Ⅰ	杉山 清彦	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	中央ユーラシアから見た世界史 近代以前の世界史の主な舞台となってきたのはユーラシア大陸である。その内陸域、すなわち中央ユーラシアの遊牧民とオアシス民こそが、世界の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。本講義では、東西交渉史の枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いて、ユーラシア世界史の展開を概観する。それを通して、あまり知られていない中央ユーラシア史の通史を示すとともに、さらにそこから新しい世界史・地域史を照らし出すことを目標とする。 期末の論述試験によって判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50443	A	歴史Ⅱ	塚原 伸治	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	歴史学の思考法（２） 「歴史を学んで何になるんだろう」——年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を常に長期的な視野で見る姿勢、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力——歴史学によって必然的に養われるこれらの力（＝歴史学的思考）は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 こうした認識に基づき、前期課程の学生が、歴史学的思考法とは何かを知り、“歴史学的にみる・考える”力を養うことができるよう、教養学部は歴史学教員は、「歴史学Ⅰ：歴史学の思考法（１）」（Ｓセメスター開講）と「歴史Ⅱ：歴史学の思考法（２）」のふたつの授業をリレー講義形式で行うことにした。いずれも５名ずつの教員からなり、両方受講しても、いずれか一方を受講しても差し支えないよう、内容やバランスを加味して構成してある。 歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、歴史学的思考法を身につけたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。 授業内課題（１０％）と期末試験（９０％）で評価する。どのような場合でも授業内課題の後日提出は受け付けない。					
成績評価方法 教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部歴史学部会編 『東大連続講義 歴史学の思考法』 岩波書店 9784000614061 2,000 円＋税					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50444	A	ことばと文学Ⅱ	田口 一郎	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	中国韻文文学略史 中国韻文文学（散文以外の文学。主に古典詩〔漢詩〕）の歴史を概観する。 先秦時代から唐にかけての韻文の特徴と変遷を理解し、中国文学の普遍的性質、基本的知識（作品・作者等）を身につける。					
成績評価方法 教科書	期末試験による。 授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50445	A	ことばと文学Ⅲ	出口 智之	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	日本近代文学と口絵・挿絵—文学の圏域— 日本の近代文学は、現在ではほぼ例外なくテキスト—言葉—のみの状態で読まれている。しかし、実際には江戸時代の文芸の姿を継ぎ、口絵や挿絵といった図像とともに発表され、その形で享受されることが多かった。そして、それらの絵画は、脱稿した文学作品を画家が読み、創意を凝らして自由かつ主体的に描くのではなく、逆に作者からの指示を受け、そのとおりに描くのが江戸時代以来の慣例だったのである。すなわち、坪内逍遙・尾崎紅葉・幸田露伴・樋口一葉・島崎藤村・泉鏡花・田山花袋・夏目漱石といった近代前期を代表する作家たちは、みな自作に入る絵に指示を出していたのだった。しかもこの制作慣習は、個々の作家・画家の事情や作品のジャンルによっては、昭和初期まで続いていたことがわかっている。 これはすなわち、そうした作家たちにとっての「文学作品」とは、けっしてテキストだけで構成されるわけではなく、みずから指示した絵と文章とが一体になった形のものにほかならなかったことを意味している。もちろん、作家たちのこうした制作慣習に対する態度は様々だった。特に工夫なく、物語の一部を順当に描くよう指示した作家もいれば、そうした慣習自体に反発し、絵への指示を強く拒否した作家もいる。しかし、なかには文章と絵とが支えあうコラボレーションを試みた作家もあり、そうした場合、当の絵を見ず文章だけを読むのでは、作家の目指したところを理解するのは不可能である。 一方、こうした江戸以来の慣習が近代出版に組込まれたことで、様々な問題も引き起された。特に、起筆前のような早い段階での指示が求められたため、執筆中に構想が変わるなどして、本文と絵が食違うことは大きな問題であった。しかし、これも現代の文学研究の視点からすれば、絵のなかに作品の原構想が保存されているということであり、作品理解の重要な手がかりとなる。 この授業では、以上のような観点から、主として明治中期から大正期にかけての文学作品に附された口絵や挿絵を取り上げ、小説の解釈と分析、図像分析、出版と印刷の状況などを概説する。特に、森鷗外「文づかひ」・樋口一葉「十三夜」・尾崎紅葉「多情多恨」・金色夜叉」・泉鏡花「高野聖」・田山花袋「蒲団」といった有名作品を題材として、絵画を手がかりにその読解を再検討することを試みる。これにより、日本近代文学というジャンルの圏域をより広い視野から捉えなおすべく、小説の解釈と図像分析を組み合わせる分析する方法の可能性、および単行本・絵入り新聞・文芸雑誌などのメディアとの関わりによって文学に開かれる視野を示し、最終的には明治の文芸文化のさらなる解明につなげる講義としたい。 可能であれば、講義の最後では、旧著作権法の整備過程にまつわる法制史の問題と、現代の知的財産法の問題にふれ、文学と絵画から見る制作者の権利のあり方についての講義も盛り込みたい。					
成績評価方法 教科書	レポート 100%。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 日本近代文学館編・出口智之責任編集 『明治文学の彩り—口絵・挿絵の世界』 春陽堂書店、2022 年 8 月 4394190304 電子版でも可。紙の書籍は日本語のみだが、電子版には英語版もあり。					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50232	A	ことばと文学Ⅳ	益 敏郎	ドイツ語	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	文学、思想研究入門（ヘルダーリン『ヒュペリオン』を読む） 文学テキストを読み、これを学問的に深め、何かしらの「発見」にいたる、という文学、文化、思想研究のプロセスを入門的に実践することがこの授業の目標である。 具体的には、ドイツの詩人フリードリヒ・ヘルダーリンの小説『ヒュペリオン』（1797/99 年）の日本語訳をメインのテキストとし、これを数十ページずつ読み進めながら、その内容に関する講義と討議を行う。 またこれと関わるいくつかのサブ・テキスト（抜粋）を用意し、これも並行して読み進めていくことで、複数のレイヤーへ向けて文学テキストを開いていく試みを行う。 たとえば、郵便制度を背景に生まれたセンチメンタルな書簡文化、フランス革命と近代ギリシャの独立戦争、プラトニック・ラブやロマンチック・ラブといった恋愛をめぐる価値観、師と仰いだシラーとの確執やズゼッテとの不倫関係という伝記的背景、『新エロイーズ』や『若きヴェルターへの悩み』からの影響や、ドイツ観念論の弁証法的論理との関係、三島由紀夫『潮騒』など後世への影響、といった『ヒュペリオン』のテキストに含まれるメディア論的、文化史的、政治的、伝記的、文学・思想史的層を探究していく。					
成績評価方法 教科書	授業への参加度やコメントの内容、期末課題などを総合して評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ヘルダーリン（青木誠之） ヒュペリオン ギリシアの隠者 ちくま文庫					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50113	A	心理Ⅱ	日高 聡太	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	心理学概論 ・認知心理学の視座から、「心理学の成り立ち」および「人の心の基本的な仕組み及び働き」について理解することを目指すとする。 ・感覚・知覚・認知に関して、現象的、行動的側面を中心に、心理現象やトピックを幅広く網羅し、認知心理学における基本的な考え方や方法論に関する知識を深める。さらに、知覚・認知の障害に関する知見についても随時紹介する。 ・講義では、認知心理学に関わる現象のデモンストレーションを提示して実際にそれらを体験してもらう。この具体的な経験を通じて、ヒトの感覚・知覚・認知システムがもつメカニズムの特性や柔軟性および生態学的意義について解説を行う。 ・リアクションペーパー（10%）および筆記試験（90%）により評価する。 ・リアクションペーパーは、授業実施日時に授業に出席し、授業の内容を聞いたうえで作成することを前提とする。授業に出席したうえでリアクションペーパーが提出されたことを確認するため、出欠確認を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50489	A	心理Ⅱ	草山 太一	心理・教育学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	心理学概論 心理学では、ヒト以外の動物を対象とした研究を通して、ヒトの心を理解する試みが進められてきた。本授業では、知覚、学習、記憶、問題解決、意思決定、社会性などを題材として、ヒトとヒト以外の動物に共通する認知機能や、それぞれの種に特徴的な認知・行動について学ぶ。また、これらに関する研究成果を通して、心や行動が環境への適応の中でどのように進化してきたのかを考察し、比較の視点からヒトの心を多角的に理解する。 筆記試験（60%）とレポート（40%、学期中に3～4回程度） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

基礎実験

基礎実験		開講区分		A 1 / A 2	
授業の目標・概要		自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。			
成績評価方法		成績は、出席、予習、実験ノート、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。			
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』 著者（訳者） 基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会 出版社 学術図書出版社、 東京化学同人 ISBN その他			
履修上の注意		過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす。 実験室内は飲食禁止。			
関連ホームページ		http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html			
※講義の詳細については、UTASを参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス	
50065	A 1	月 3, 月 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)	
50344	A 1	火 3, 火 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)	
50601	A 1	水 3, 水 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)	
50785	A 1	木 3, 木 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)	
50994	A 1	金 3, 金 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)	
51111	A 1	集中	基礎実験 I (物理学) α	1 年 理一	
60001	A 2	月 3, 月 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)	
60021	A 2	火 3, 火 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)	
60068	A 2	水 3, 水 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)	
60074	A 2	木 3, 木 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)	
60080	A 2	金 3, 金 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)	
60085	A 2	集中	基礎実験 II (物理学) α	1 年 理一	
50066	A 1	月 3, 月 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)	
50345	A 1	火 3, 火 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)	
50602	A 1	水 3, 水 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)	
50786	A 1	木 3, 木 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)	
50995	A 1	金 3, 金 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)	
51113	A 1	集中	基礎実験 I (化学) α	1 年 理一	
60002	A 2	月 3, 月 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)	
60022	A 2	火 3, 火 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)	
60069	A 2	水 3, 水 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)	
60075	A 2	木 3, 木 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)	
60081	A 2	金 3, 金 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)	
60086	A 2	集中	基礎実験 II (化学) α	1 年 理一	
50096	A 1	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 奇数	
50348	A 1	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 奇数	
50608	A 1	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 奇数	

基礎実験

50795	A 1	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 奇数
51007	A 1	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇数
60003	A 2	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 偶数
60023	A 2	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 偶数
60070	A 2	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 偶数
60076	A 2	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 偶数
60082	A 2	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶数
50097	A 1	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 偶数
50349	A 1	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 偶数
50609	A 1	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 偶数
50796	A 1	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 偶数
51008	A 1	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶数
60004	A 2	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 奇数
60024	A 2	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 奇数
60071	A 2	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 奇数
60077	A 2	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 奇数
60083	A 2	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇数

微分積分学②

微分積分学②		開講区分	A
授業の目標・概要	代数学，幾何学とともに，数学の根幹をなす解析学について，その基本的な考え方や方法を学ぶ．力学における運動方程式などに代表されるように，自然界の多くの現象が，微分積分学を用いて記述される．微分積分学は，あらゆる科学技術の基礎となっている．微分積分学は 17 世紀末に，ニュートンやライプニッツらによって創成された．ニュートンは量の変化の記述に注目し，速度，加速度などの物理量を表現するために微分概念を導入した．「微分積分学の基本定理」により，区分求積法によって定義される積分は，微分の逆操作であることが，明確に認識されるようになった． 微分積分学では，極限をとること，無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす．このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は，19 世紀後半から整えられていった．この授業では，「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき，微分積分学の基礎と応用を学ぶ．具体的な項目は以下の通りである． S2 タームで項目 1,2 を扱い，A セメスターで項目 3～6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある． 1. 一変数関数の微分 (微分的基本性質，テーラーの定理，テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分，合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き) (高階偏微分，多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法，微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分，多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束，広義積分) 実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は，2 年次 S セメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる．将来，本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる．なお，「解析学基礎」は 1 年次 S セメスターでも履修することができる．また，2 年次 S セメスターの総合科目として，「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」，および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」，「ベクトル解析」が開講される．		
成績評価方法 教科書	主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある． その他．／Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN		
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50049	月 2	大島 芳樹	1 年 理二三(14-16)
50050	月 2	土屋 卓也	1 年 理二三(17-20)
50051	月 2	戸松 玲治	1 年 理二三(21-24)
50141	月 4	高津 飛鳥	1 年 理一(20-23)
50142	月 4	白石 潤一	1 年 理一(24-27)
50143	月 4	吉野 太郎	1 年 理一(28-31)
50144	月 4	桐木 紳	1 年 理一(32-35)
50145	月 4	河上 龍郎	1 年 理一(36-39)
50406	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(1-3,6,19)
50407	火 4	林 修平	1 年 理一(4-5,9,14)
50408	火 4	大場 清	1 年 理一(7-8,10,18)
50409	火 4	河野 俊丈	1 年 理一(11-13)
50410	火 4	松田 茂樹	1 年 理一(15-17)
50605	水 3	会田 茂樹	1 年 理二三(1-7)
50606	水 3	平良 晃一	1 年 理二三(8-10)
50607	水 3	吉野 太郎	1 年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②		開講区分	A
授業の目標・概要	線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。 自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする。 S2 タームで UTAS シラバス「授業計画」の項目 1,2 を扱い、A セメスターで項目 3～6 を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。		
成績評価方法 教科書	主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 その他。／Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN		
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50478	水 1	小林 正典	1 年 理二三(1-7)
50479	水 1	植野 義明	1 年 理二三(8-10)
50480	水 1	清田 正夫	1 年 理二三(11-13)
50481	水 1	寺田 至	1 年 理二三(14-16)
50482	水 1	平地 健吾	1 年 理二三(17-20)
50483	水 1	加藤 晃史	1 年 理二三(21-24)
50726	木 2	河野 俊丈	1 年 理一(1-3,6,19)
50784	木 3	寺田 至	1 年 理一(4-5,9,14)
50789	木 3	下川 航也	1 年 理一(20-23)
50790	木 3	戸瀬 信之	1 年 理一(24-27)
50791	木 3	梶原 健	1 年 理一(28-31)
50792	木 3	ケリー シェーン	1 年 理一(32-35)
50793	木 3	山崎 満	1 年 理一(36-39)
50895	金 1	関口 英子	1 年 理一(7-8,10,18)
50896	金 1	松本 久義	1 年 理一(11-13)
50897	金 1	葉廣 和夫	1 年 理一(15-17)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習					
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある。この2つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。				
成績評価方法	通常は定期試験を行わず、平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ、授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする。出席点が重視されるため、欠席を重ねると単位を出せなくなることがある。				
教科書	その他。／Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他				
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/				
※講義の詳細については、UTAS も参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50101	A	月 3	微分積分学演習	大島 芳樹	1 年 理二三(14-16)
50102	A	月 3	線型代数学演習	榎園 誠	1 年 理二三(14-16)
50103	A	月 3	微分積分学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(17-20)
50104	A	月 3	線型代数学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(17-20)
50105	A	月 3	微分積分学演習	戸松 玲治	1 年 理二三(21-24)
50106	A	月 3	線型代数学演習	戸松 玲治	1 年 理二三(21-24)
50426	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	1 年 理一(1-3,6,19)
50427	A	火 5	線型代数学演習	後藤 ゆきみ	1 年 理一(1-3,6,19)
50428	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理一(4-5,9,14)
50429	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理一(4-5,9,14)
50430	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(7-8,10,18)
50431	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(7-8,10,18)
50432	A	火 5	微分積分学演習	榎園 誠	1 年 理一(11-13)
50433	A	火 5	線型代数学演習	榎園 誠	1 年 理一(11-13)
50434	A	火 5	微分積分学演習	浅井 聡太	1 年 理一(15-17)
50435	A	火 5	線型代数学演習	浅井 聡太	1 年 理一(15-17)
50634	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(1-7)
50635	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(1-7)
50636	A	水 4	微分積分学演習	PEREZ VALDES VICTOR	1 年 理二三(8-10)
50637	A	水 4	線型代数学演習	PEREZ VALDES VICTOR	1 年 理二三(8-10)
50638	A	水 4	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理二三(11-13)
50639	A	水 4	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理二三(11-13)
50824	A	木 4	微分積分学演習	片田 舞	1 年 理一(20-23)
50825	A	木 4	線型代数学演習	片田 舞	1 年 理一(20-23)
50826	A	木 4	微分積分学演習	白石 潤一	1 年 理一(24-27)
50827	A	木 4	線型代数学演習	白石 潤一	1 年 理一(24-27)
50828	A	木 4	微分積分学演習	田中 雄一郎	1 年 理一(28-31)
50829	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	1 年 理一(28-31)
50830	A	木 4	微分積分学演習	後藤 ゆきみ	1 年 理一(32-35)

微分積分学演習・線型代数学演習

50831	A	木 4	線型代数学演習	後藤 ゆきみ	1 年 理一(32-35)
50832	A	木 4	微分積分学演習	河上 龍郎	1 年 理一(36-39)
50833	A	木 4	線型代数学演習	山崎 満	1 年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）					
授業の目標・概要		科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び, 高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする. 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる. 本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する.			
成績評価方法		定期試験による.			
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time			
		書名			
		著者（訳者）			
		出版社			
		ISBN			
		その他			
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html			
※講義の詳細については、UTAS も参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50162	A	月 5	数理科学基礎（補修）	高津 飛鳥	1 年 理科 2 年 理科
50653	A	水 5	数理科学基礎（補修）	金子 宏	1 年 理科 2 年 理科

電磁気学 A

電磁気学 A		開講区分	A
授業の目標・概要	電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。 主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2.静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・電位とその性質 ・導体系 ・静電場のエネルギーとストレス 3.定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4.定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・静磁場の微分方程式 ・ベクトルポテンシャル ・ビオー・サヴァールの法則 ・円電流と等価磁石 ・単位系 5.電磁誘導とマクスウェル方程式 ・ファラデー・レンツの法則 ・変位電流と連続の方程式 ・マクスウェル方程式 ・電磁場のエネルギーと仕事 ・平面電磁波 ・準定常電磁場と交流回路 * 6.物質中の電磁場 * 考え方：分極電荷、磁化電流 * 誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性） * 異なった物質の間の境界条件 * 物質中の電磁場エネルギー		
成績評価方法	主として定期試験による。		
教科書	担当教員の UTAS シラバスを参照すること その他。／Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50535	水 2	大井 万紀人	1 年 理一(1-6,31)
50540	水 2	多田 司	1 年 理一(32-34)
50541	水 2	金澤 直也	1 年 理一(35)理二三(1-3,7)
50542	水 2	國場 敦夫	1 年 理一(37-39)
50543	水 2	永井 佑紀	1 年 理二三(8,11,19)
50546	水 2	藤山 茂樹	1 年 理二三(21-22,24)
50729	木 2	國場 敦夫	1 年 理一(7-9,14)
50735	木 2	高木 隆司	1 年 理一(21-23)
50736	木 2	水野 英如	1 年 理一(24,26-27)
50738	木 2	大川 祐司	1 年 理一(28-30)
50740	木 2	中村 哲	1 年 理二三(4,12-13)
50741	木 2	張 奕勁	1 年 理二三(17-18,23)
51029	金 4	白石 直人	1 年 理一(10-12)

51031	金 4	牛島 一郎	1 年 理一(13,15-16)
51032	金 4	溝口 俊弥	1 年 理一(17-19)
51033	金 4	年吉 洋	1 年 理一(20,25,36)
51040	金 4	町田 友樹	1 年 理二三(5,9-10,14)
51041	金 4	黒田 直史	1 年 理二三(6,15-16,20)

電磁気学B

電磁気学B		開講区分	A
授業の目標・概要		入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。 高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。 講義では演習、宿題等を十分に課する。 目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。 1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2.静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス 演習 3.定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4.定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・ビオー・サヴァールの法則 ・電流に働く力 ・円電流と等価磁石 ・磁場のエネルギー ・単位系 5.時間的に変動する電磁場 ・ファラデー・レンツの電磁誘導の法則 ・交流回路 6.変位電流とマクスウェル方程式 ・変位電流と電荷の保存 ・マクスウェル方程式（積分形） ・平面電磁波 演習	
成績評価方法 教科書		主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること その他。／Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN	
関連ホームページ		※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること	
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50536	水 2	加藤 雄介	1 年 理一(1-6,31-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19,21-22,24)
50730	木 2	加藤 雄介	1 年 理一(7-9,14,21-24,26-30)理二三(4,12-13,17-18,23)
51030	金 4	加藤 光裕	1 年 理一(10-13,15-20,25,36)理二三(5-6,9-10,14-16,20)

構造化学

構造化学		開講区分	A
授業の目標・概要		物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である．本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ．理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す．各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである． 1. 量子論の必要性 ・原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー単位，Bohr 原子) ・電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波) 2. 量子論の基礎 ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点) ・1 次元箱中の電子(ボリエンの吸収スペクトルと色) ・2 原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造) 3. 原子の構造と性質 ・水素原子(量子数，エネルギー単位，原子軌道) ・Pauli の排他原理(電子スピン) ・多電子原子(元素の周期律と構成原理) 4. 化学結合と分子 ・水素分子イオン(分子軌道，化学結合) ・2 原子分子(分子の性質と電子構造)	
成績評価方法 教科書		定期試験．必要に応じて中間テスト・演習（クイズ）・出席状況を勘案する． プリントを配布する．／Will distribute handouts 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN	
関連ホームページ		※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること	
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50039	月 2	十代 健	1 年 理一(5,31,33-34)
50043	月 2	立川 仁典	1 年 理一(20-22)
50047	月 2	生井 飛鳥	1 年 理二三(5,7,9,11)
50093	月 3	奥野 将成	1 年 理一(29,35-36)
50098	月 3	木下 卓巳	1 年 理二三(6,12-13)
50190	火 1	豊田 太郎	1 年 理一(9,12,38)
50207	火 1	河野 淳也	1 年 理二三(15,17,20)
50342	火 3	城野 亮太	1 年 理一(8,11,13,30)
50347	火 3	山崎 康臣	1 年 理二三(8,10,14)
50350	火 3	安池 智一	1 年 理二三(18-19,22-23)
50599	水 3	中田 真秀	1 年 理一(4,24,28)
50603	水 3	杉原 加織	1 年 理一(16,19,27)
50628	水 4	中島 正和	1 年 理一(6,15,32,37)
50630	水 4	沖野 友哉	1 年 理一(10,14,23)
50632	水 4	澁田 靖	1 年 理一(25-26,39)
50783	木 3	徳本 有紀	1 年 理一(1-3,7,17-18)
50794	木 3	長谷川 宗良	1 年 理二三(1-4,16,21,24)
50875	木 6	羽馬 哲也	1 年 理科
51085	金 6	羽馬 哲也	1 年 理科

生命科学Ⅱ

生命科学Ⅱ		開講区分	A
授業の目標・概要	細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。 1. 細胞内輸送 2. 細胞骨格と細胞運動 3. 細胞間・細胞内情報伝達 4. 神経伝達と機能 5. 細胞周期 6. 動物・植物の発生 7. 遺伝子の発現制御 8. ゲノムと進化 9. 生物多様性		
成績評価方法	【担当教員入力】		
教科書	実施の詳細は担当教員から指示される。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第5版 著者（訳者） 東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 （株）羊土社 ISBN 978-4-7581-2102-6		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50148	月 4	瀬尾 秀宗	1 年 理二三(14,18,21-22)
50149	月 4	加納 純子、武内 秀憲	1 年 理二三(16,19-20,23)
50901	金 1	道上 達男、末次 憲之	1 年 理二三(7,10,15,24)
50908	金 1	佐藤 健、北西 卓磨	1 年 理二三(9,11-13)
51006	金 3	阿部 光知、長谷部 政治	1 年 理二三(1-6,8,17)